



平成28年10月5日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

浚渫兼油回収船「清龍丸」が館山港で一般公開

～829名が船内の様子を見学～

浚渫兼油回収船「清龍丸」(国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所所属)は平成28年9月28日(水)に千葉県館山港館山夕日棧橋で一般公開を行い、737名が本船を見学に訪れました。

また、翌29日(木)には、国立館山海上技術学校の生徒・教員92名が船内見学会を行いました。

船内では、浚渫機能や油回収機能、災害時の緊急物資輸送等の支援活動についてのパネル展示、船内の機器・装置類の説明を行いました。(参考資料-1)

一般公開には、館山小学校や館山西岬小学校の児童も見学に訪れました。西岬小学校では、海洋教育を行っているタイミングに清龍丸の見学が重なり、大変喜んで頂けました。

館山海上技術学校の見学会では、通常の一般公開では開放していない機関室も見て貰い、より専門的な説明を行いました。

〈参考〉

「一般公開」

日時：平成28年9月28日(水) 10:00～15:00

見学者数：737名

「船内見学会」

日時：平成28年9月29日(木) 10:00～15:00

見学者数：92名(生徒86名、教員6名)

なお、本船は館山港での一般公開終了後、定期修理のため9月30日(金)に横浜港に入港し、12月16日(金)に名古屋港へ帰港する予定です。

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】(参考資料-2)

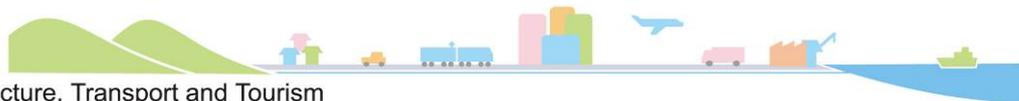
名古屋港において船舶が安全に航行できるように、航路等の浚渫作業を行っていますが、大量油流出時には速やかに流出現場に向かい、油回収作業を行います。清龍丸のような大型油回収船は、国内に3隻配備されており、日本のどこで油流出が発生しても48時間以内に対応することができます。

○配布先 中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、専門紙記者会、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

○問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801



参考資料－1

○9月27日(火)「清龍丸」 歓迎セレモニーの様子



館山夕日栈橋への着岸状況



館山夕日栈橋での歓迎セレモニーの様子 館山市長を中心に記念撮影

○9月28日(水) 一般公開の様子



船内見学の様子



館山西岬小学校の児童と記念撮影

○9月29日(木) 船内見学会の様子



船内(機関室)見学の様子



館山海上技術学校の生徒たち



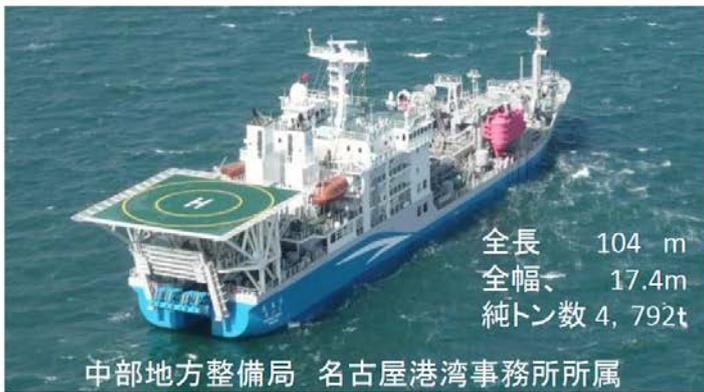
浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。

- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。

- 災害時には、災害支援作業(災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等)。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油膜状の油

水ジェット噴射による油膜の誘導

オイルボール状など固形化した油

やわらかい油用

渦流式油回収器

水ジェット 空気 油水 海水

〔水ジェット集油装置 ゴミ除去装置付〕

固まっている油用

スキッパー式油回収器

〔回収コンテナ・洗浄装置付〕

浚渫作業

戻渫ライン リサイクル機 掃形ポンプ

ドラグヘッド 泥輸 戻渫ポンプ リサイクルライン

海底面に下した土砂吸い込み口(ドラグヘッド)

油回収タンクに約1時間で1,000kl(ドラム缶約5千本分)の油水を回収可能。